

製品名: V-ATPase B1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19733**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP6V1B1 ATP6V1B1; ATP6B1; VATB; VPP3; V-type proton ATPase subunit B; kidney isoform; V-ATPase subunit B 1; Endomembrane proton pump 58 kDa subunit; Vacuolar proton pump subunit B 1
別名	
遺伝子 ID	525.0
SwissProt ID	P15313
免疫原	抗血清はヒト ATP6V1B1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430

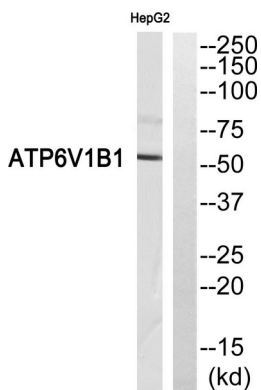
背景

この遺伝子は、真核生物の細胞内小器官の酸性化を媒介するマルチサブユニット酵素である液胞 ATPase (V-ATPase) の成分をコードしています。V-ATPase 依存性の細胞内小器官の酸性化は、タンパク質の選別、チモーゲンの活性化、受容体を介したエンドサイトーシス、シナプス小胞のプロトン勾配の生成などの細胞内プロセスに必要です。V-ATPase は、細胞質 V1 ドメインと膜貫通 V0 ドメインで構成されています。V1 ドメインは、3つの A サブユニット、3つの B サブユニット、2つの G サブユニット、および C、D、E、F、H サブユニットで構成されています。V1 ドメインには ATP 触媒部位が含まれています。V0 ドメインは、a、c、c'、c''、d の5つの異なるサブユニットで構成されています。多くの V1 および V0 サブユニットタンパク質の追加アイソフォームは、複数の遺伝子または選択的スプライシングを受けた転写バリエーションによってコードされています。このコードタンパク質は、V1 ドメイン B サブユニットの2つのアイソフォームのうちの1つであり、疾患: ATP6V1B1 の欠陥は、難聴を伴う遠位尿細管性アシドーシス (dRTA) [MIM:267300]の原因です。遺伝形式は常染色体劣性です。劣性 dRTA の患者は重篤な症状を呈し、若年での急性疾患または成長不全、および両側性感音難聴を呈します。その他の特徴としては、腎性カリウム喪失による血清 K(+)値の低下、および尿中カルシウム値の上昇が挙げられます。治療せずに放置すると、このアシドーシスは骨の溶解を引き起こし、骨軟化症やくる病につながる可能性があります。腎臓へのカルシウム塩の沈着 (腎石灰化症) および腎結石の形成がよく起こります。ドメイン: PDZ 結合モチーフは、SLC9A3R1 および SCL4A7 との相互作用を媒介します。機能: 液胞 ATPase の末梢 V1 複合体の非触媒サブユニット。V-ATPase は、真核細胞のさまざまな細胞内コンパートメントの酸性化を担っています。類似性: ATPase アルファ/ベータ鎖ファミリーに属します。細胞内局在: 膜。サブユニット: V-ATPase は、末梢触媒 V1 複合体 (主要成分: サブユニット A、B、C、D、E、および F) と内在性膜 V0 プロトンポア複合体 (主要成分: プロテオリピドタンパク質) から構成されるヘテロ多量体酵素です。SLC9A3R1 および SCL4A7 と複合体を形成する。組織特異性: 蝸牛および内リンパ嚢で発現する。

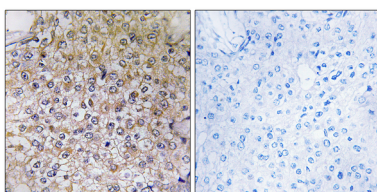
研究分野

酸化リン酸化、コレラ菌感染症、ヘリコバクターピロリ菌感染症における上皮細胞シグナル伝達

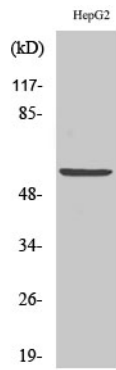
画像データ



ATP6V1B1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは ATP6V1B1 ペプチドでブロッキングされている。



ATP6V1B1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右レーンは ATP6V1B1 ペプチドでブロッキングされている。



V-ATPase B1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。